

当面考えられる対応案

業務制限

- 看護師以外の看護業務の禁止

看護業務に必要な知識、技能の確認

- 免許付与要件の追加
看護師免許を有していること又は看護師免許を申請中であることを、保健師（助産師）の免許付与の要件とする。
- 受験資格
看護師国家試験に合格した者にのみ、保健師（助産師）国家試験の受験資格を認める。
- 合格基準
看護師国家試験に合格した者のみ、保健師（助産師）国家試験に合格させる。
- 国家試験科目
保健師（助産師）国家試験の試験科目に、看護師国家試験科目を追加する。

参 考 資 料

看護職員受給見通し（平成13年～17年）	1
看護師等学校養成所の施設数及び定員の推移	2
保健師、助産師、看護師、准看護師の就業者数の推移	3
病院の100床当たり看護職員数（平成6～14年）	4
看護職員に占める男性の比率	5
18才人口に占める看護師等学校養成所入学者の割合	6
18歳人口の将来推移	7
看護師等学校養成所における退学者割合	8
新規採用者存続率	10
「新卒看護職員の早期離職等実態調査」結果（速報）（抜粋）	11
医療提供体制の各国比較（2001）	12
「第六次看護職員受給見通しに関する検討会」について	13
第六次看護職員受給見通し策定方針	16

看護職員需給見通し(平成13年～17年)

区 分		平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
需 要 数	① 病 院	768,800人	776,300人	782,700人	788,300人	794,200人
	② 診 療 所	231,000	234,000	236,900	239,900	243,000
	③ 助 産 所	2,100	2,000	2,000	1,900	1,900
	④ 介護保険関係	142,500	154,500	166,600	178,600	189,300
	⑤ 社会福祉施設(④を除く)	12,900	13,300	13,600	14,000	14,300
	⑥ 保健所・市町村	32,200	33,000	33,900	34,600	35,300
	⑦ 教育機関	14,500	14,800	14,700	14,700	14,800
	⑧ 事業所、学校、その他	12,700	12,800	12,800	12,900	13,000
	⑨ 上記の計	1,216,700	1,240,700	1,263,100	1,284,900	1,305,700
供 給 数	⑩ 年当初就業者数	1,151,100	1,181,300	1,212,000	1,242,000	1,271,400
	⑪ 新卒就業者数	61,300	60,300	58,600	57,600	56,200
	⑫ 再就業者数	35,400	37,900	40,100	42,000	43,800
	⑬ 退職等による減少数	66,600	67,400	68,700	70,100	71,000
	⑭ 年末就業者数(⑩+⑪+⑫-⑬)	1,181,300	1,212,000	1,242,000	1,271,400	1,300,500
⑮ 差 引 計 (⑨-⑭)	35,500	28,700	21,200	13,500	5,300	

就 業 者 数	1,187,600	1,233,500	1,268,500	—	—
供給見込数と就業者数の差	6,300	21,500	26,500	—	—
需要見込数と就業者数の差	△ 29,100	△ 7,200	5,400	—	—

(備考)四捨五入のため、各項目の数値の合計等は一致しない。

看護師等学校養成所の施設数及び定員の推移

		平成12年4月		平成13年4月		平成14年4月		平成15年4月		平成16年4月		
		学校数	1学年定員	学校数	1学年定員	学校数	1学年定員	学校数	1学年定員	学校数	1学年定員	
保健師	大学	82	5,910	88	6,410	95	7,020	103	7,660	119	8,869	
	短期大学専攻科	21	665	21	670	19	620	18	600	19	565	
	養成所	44	1,590	39	1,430	37	1,370	32	1,160	30	1,020	
	計	147	8,165	148	8,510	151	9,010	153	9,420	168	10,454	
助産師	専門職大学院	—	—	—	—	—	—	—	—	1	40	
	大学	46	3,370	54	3,980	62	4,615	70	5,240	82	6,249	
	短期大学専攻科	35	610	34	590	31	540	29	500	28	480	
	養成所	43	978	39	898	35	803	33	750	33	745	
	計	124	4,958	127	5,468	128	5,958	132	6,490	144	7,514	
看護師	3年課程	大学	84	5,950	91	6,530	98	7,140	106	7,780	122	8,969
		短期大学	67	4,580	64	4,310	60	3,650	56	3,230	55	2,410
		養成所	513	23,544	508	23,297	503	23,037	500	23,482	498	23,713
		計	664	34,074	663	34,137	661	33,827	662	34,492	675	35,092
	2年課程	短期大学	11	570	10	570	10	570	10	410	9	480
		高等学校専攻科	59	2,835	61	2,915	61	2,955	61	2,955	61	2,925
		養成所	351	14,548	330	13,628	312	12,903	299	11,790	283	11,592
		計	421	17,953	401	17,113	383	16,428	370	15,155	353	14,997
	高等学校・高校専攻科5年一貫教育		—	—	—	—	65	3,375	65	3,335	66	3,375
	計		1,085	52,027	1,064	51,250	1,109	53,630	1,097	52,982	1,094	53,464
准看護師	高等学校衛生看護科	130	7,135	127	6,763	126	1,210	118	1,210	25	1,105	
	養成所	399	19,335	365	17,810	337	14,343	297	14,058	287	13,505	
	計	529	26,470	492	24,573	463	15,553	415	15,268	312	14,610	
合計		1,885	91,620	1,831	89,801	1,851	84,151	1,797	84,160	1,718	86,042	

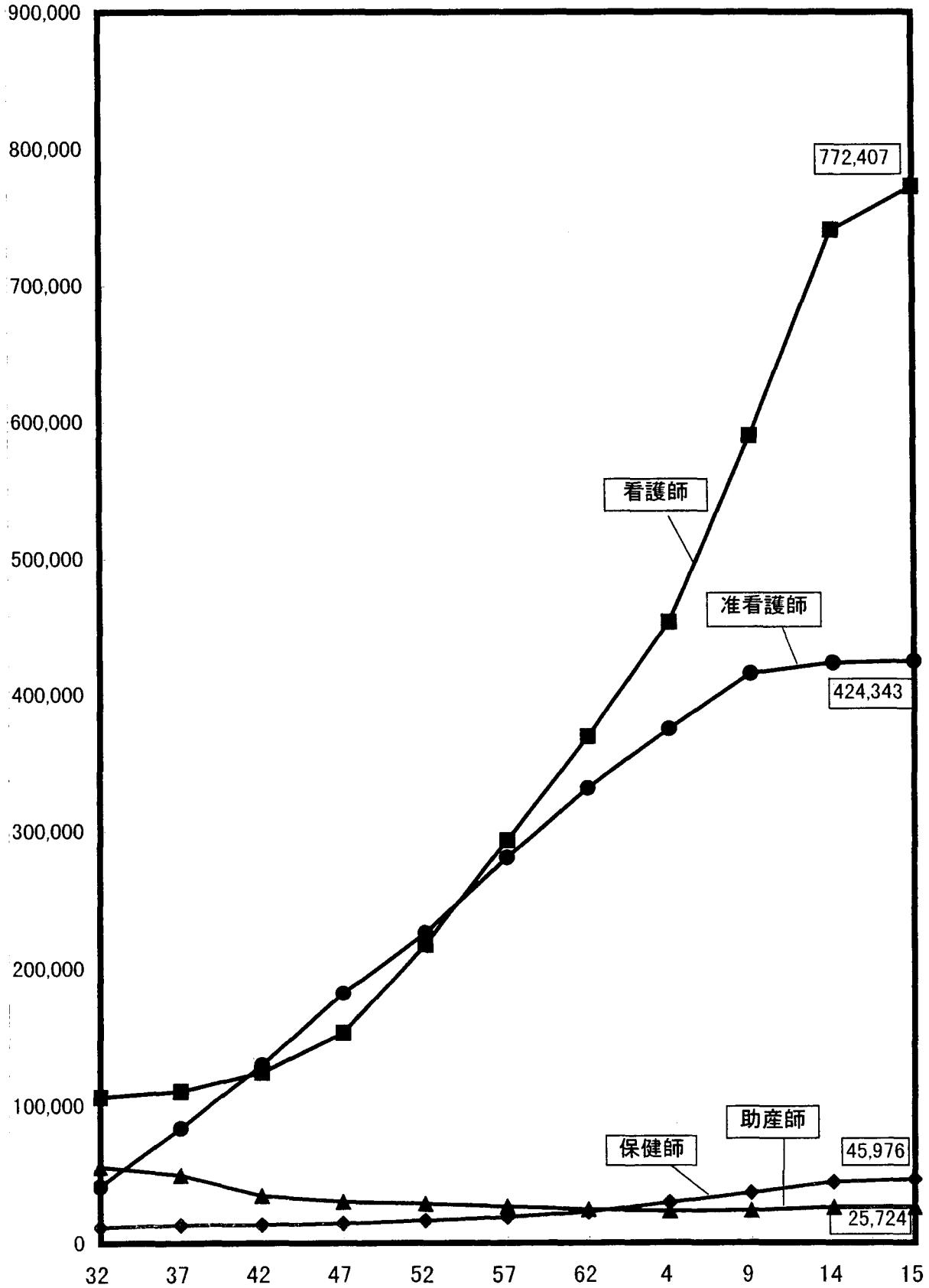
・大学の保健師課程は、ほとんどの大学において看護師教育と統合的に行われているため、定員数は実質的には重複計上となっている。

・大学の助産師課程は、選択制であるため、実際の選択者は課程定員より少ない。

・看護師3年課程養成所には、保健師との統合カリキュラムを行っているところがあり、それぞれに重複計上している。

保健師、助産師、看護師、准看護師の就業者数の推移

単位:人



病院の100床当たり看護職員数(平成6～14年)

年	保健師	助産師	看護師	准看護師	全体 合計
平成6年	0.1	0.9	26.4	14.7	42.1
平成7年	0.1	1.0	26.4	14.7	42.2
平成8年	0.1	1.0	27.5	14.7	43.3
平成9年	0.1	1.0	28.5	14.7	44.3
平成10年	0.1	1.0	29.5	14.5	45.1
平成11年	0.1	1.0	30.9	14.0	46.0
平成12年	0.1	1.1	31.8	13.6	46.6
平成13年	0.1	1.1	32.5	13.4	47.1
平成14年	0.1	1.1	33.8	13.2	48.2

* 病院報告(厚生労働省大臣官房統計情報部)

看護職員に占める男性の比率

(単位:人)

年	保健師			看護師			准看護師			全就業者 (助産師を含む)		
	就業者	男性	男性比率	就業者	男性	男性比率	就業者	男性	男性比率	就業者	男性	男性比率
平成6年	29,008	—	—	492,352	12,768	2.6%	369,661	16,574	4.5%	914,069	29,342	3.2%
平成8年	31,581	44	0.1%	544,929	14,885	2.7%	383,967	18,589	4.8%	984,092	33,518	3.4%
平成10年	34,468	86	0.2%	594,447	17,807	3.0%	391,374	20,489	5.2%	1,044,491	38,382	3.7%
平成12年	36,781	148	0.4%	653,617	22,189	3.4%	388,851	21,269	5.5%	1,103,760	43,606	4.0%
平成14年	38,366	189	0.5%	703,913	26,160	3.7%	393,413	22,726	5.8%	1,160,032	49,075	4.2%

* 衛生行政報告例(厚生労働省大臣官房統計情報部)

全産業にみる男女別就業者数

(単位:千人)

	男性	女性	計	男性率
平成14年	3,725	2,593	6,319	58.9%

* 労働力調査(厚生労働省大臣官房統計情報部)

18歳人口に占める看護師等学校養成所入学者の割合

年		18才人口 (千人)	看護師等学校養成所入学者(人)			対18歳人口 に占める割合
			看護師3年課程	准看護師	計	
平成6年	女子	897	29,095	29,689	58,784	6.6%
	総数	1,844	29,865	32,914	62,779	3.4%
平成7年	女子	858	31,145	29,501	60,646	7.1%
	総数	1,758	32,105	32,573	64,678	3.7%
平成8年	女子	834	31,725	28,287	60,012	7.2%
	総数	1,711	32,787	31,430	64,217	3.8%
平成9年	女子	802	31,656	26,542	58,198	7.3%
	総数	1,647	32,771	29,604	62,375	3.8%
平成10年	女子	781	32,083	24,100	56,183	7.2%
	総数	1,603	33,495	27,342	60,837	3.8%
平成11年	女子	748	32,264	23,372	55,636	7.4%
	総数	1,534	33,863	26,720	60,583	3.9%
平成12年	女子	739	32,437	21,439	53,876	7.3%
	総数	1,513	34,352	24,860	59,212	3.9%
平成13年	女子	741	32,303	19,486	51,789	7.0%
	総数	1,518	34,282	22,565	56,847	3.7%
平成14年	女子	731	31,881	12,630	44,511	6.1%
	総数	1,500	34,025	15,422	49,447	3.3%
平成15年	女子	704	32,085	12,254	44,339	6.3%
	総数	1,444	34,617	15,136	49,753	3.4%

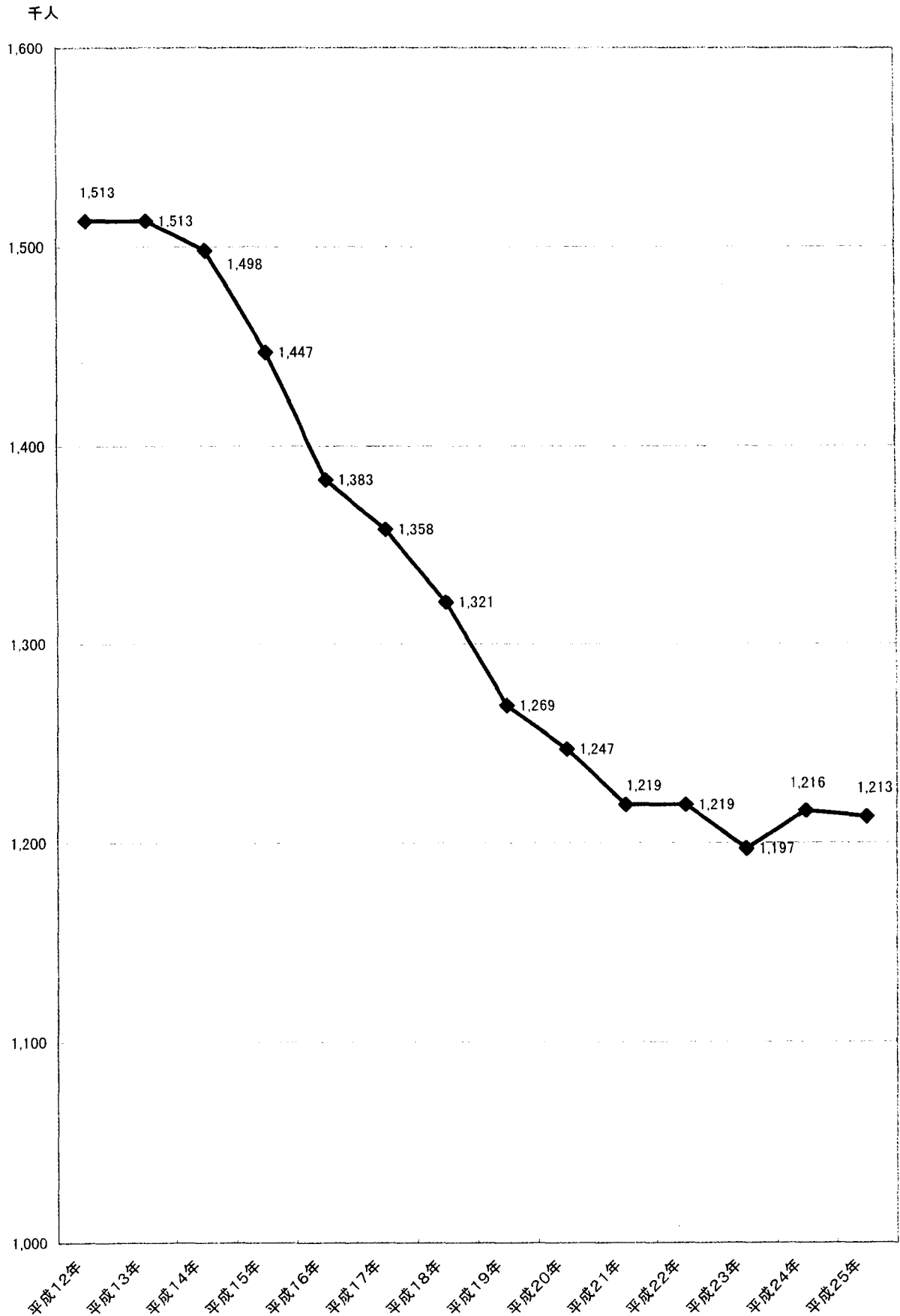
「看護師3年課程」には、大学、短大及び養成所を含む。

「准看護師」には、養成所及び高等学校衛生看護科を含む。

* 厚生労働省医政局看護課調べ

(18才人口については、総務省統計局による国勢調査結果及び推計を計上)

18歳人口の将来推移



総人口のピークは平成18年であり、以降総人口は減少していく。(中位推計)
平成25年には65歳以上の人口が3000万人を超えるものと推計されている。(中位推計)

看護師等学校養成所における退学者割合

3年課程（短大）

（単位：人）

	入学時学生数	卒業者数	入学時－卒業	退学者の割合
平成6年	4,417	4,254	163	3.7%
平成7年	4,532	4,411	121	2.7%
平成8年	4,530	4,363	167	3.7%
平成9年	4,755	4,547	208	4.4%
平成10年	5,207	5,028	179	3.4%
平成11年	5,492	5,236	256	4.7%
平成12年	5,669	5,357	312	5.5%
平成13年	5,426	5,201	225	4.1%
平成14年	5,191	4,874	317	6.1%
平成15年	4,893	4,590	303	6.2%

3年課程（養成所）

（単位：人）

	入学時学生数	卒業者数	入学時－卒業	退学者の割合
平成6年	18,381	17,595	786	4.3%
平成7年	20,040	18,990	1,050	5.2%
平成8年	21,744	20,390	1,354	6.2%
平成9年	23,165	21,300	1,865	8.1%
平成10年	24,284	22,197	2,087	8.6%
平成11年	24,258	21,867	2,391	9.9%
平成12年	23,531	21,007	2,524	10.7%
平成13年	23,452	20,812	2,640	11.3%
平成14年	23,233	20,567	2,666	11.5%
平成15年	23,099	20,489	2,610	11.3%

2年課程（短大・養成所）

（単位：人）

	入学時学生数	卒業者数	入学時－卒業	退学者の割合
平成6年	18,361	17,068	1,293	7.0%
平成7年	18,781	17,431	1,350	7.2%
平成8年	19,350	17,722	1,628	8.4%
平成9年	20,183	18,138	2,045	10.1%
平成10年	19,961	17,880	2,081	10.4%
平成11年	19,891	17,710	2,181	11.0%
平成12年	19,821	17,767	2,054	10.4%
平成13年	19,336	17,386	1,950	10.1%
平成14年	18,398	16,115	2,283	12.4%
平成15年	17,427	15,451	1,976	11.3%

准看護師（養成所・高等学校衛生看護科）

（単位：人）

	入学時学生数	卒業者数	入学時－卒業	退学者の割合
平成6年	30,455	26,833	3,622	11.9%
平成7年	31,340	27,616	3,724	11.9%
平成8年	32,096	28,191	3,905	12.2%
平成9年	32,612	29,050	3,562	10.9%
平成10年	31,682	28,069	3,613	11.4%
平成11年	29,894	26,348	3,546	11.9%
平成12年	27,706	24,367	3,339	12.1%
平成13年	26,998	23,700	3,298	12.2%
平成14年	25,213	22,056	3,157	12.5%
平成15年	22,927	20,543	2,384	10.4%

* 厚生労働省医政局看護課調べ

新規採用者存続率

(単位:%)

	平成11年 (1999年)	平成14年 (2002年)
国	92.4	87.8
自治体	92.3	87.8
公的	89.4	89.2
社会保険関係団体	80.0	82.6
医療法人・個人	89.9	78.7
学校法人・その他	82.9	88.0
全体平均	87.1	84.1

* 平成11年については、「病院看護基礎調査」、平成14年については「病院看護職員の需給状況調査」(ともに日本看護協会)

注) 新規採用者の存続率 = (当該年度新規採用者数 - 一年度末までの退職者数) / 当該年度新規採用者数 × 100

2004年「新卒看護職員の早期離職等実態調査」結果（速報）（抜粋）
社団法人日本看護協会

調査対象 ①病院調査 200床以上の全病院 2,879
 有効回収数 1,219（回収率 42.3%）
 ②学校調査 看護師学校養成所3年課程全数 671
 有効回収数 436（回収率 65.0%）
 ③新卒看護職員調査
 調査方法 質問紙法
 調査時期 平成16年11月～12月

結果 新卒看護職員の離職状況と職場定着を困難にしている理由

昨年（2003）度の新卒採用者離職率・病院の特個別

（新卒採用者があり、かつ回答欄に有効記入があった病院について集計）

	合計	0%	～5% 未滿	5～ 8%未 滿	8～ 10% 未滿	10～ 12% 未滿	12～ 15% 未滿	15～ 20% 未滿	20% 以上	平均 離職 率
合計 N=517	100.0%	25.0	13.5	16.1	11.8	8.7	8.3	9.1	7.5	8.5%
（再掲）特定機能病院 N=57	100.0%	14.0	24.6	14.0	5.3	19.3	10.5	12.3	-	8.8%
（再掲）一般病院 N=442	100.0%	25.6	12.7	16.1	12.9	7.7	7.7	8.6	8.8	8.4%

※ 新卒採用者離職率＝2003年度新卒採用者のうち年度末までに離職した者／2003年度新卒採用者数×100（病院ごと）

※ 平均離職率＝2003年度新卒採用者のうち年度末までに離職した者（総数）／2003年度新卒採用者数×100（総数）

新卒看護職員の入職後早期（1年以内）の離職が増えているか

合計	1219	100.0%
増加する傾向にある	227	18.6%
特に変わらない	824	67.6%
減少する傾向にある	103	8.4%
無回答	65	5.3%

新卒看護職員の職場定着を困難にしている要因（複数回答）

	病院調査(N=1219)		学校調査(N=435)	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)
基礎教育終了時点の能力と看護現場で求める能力とのギャップ	①	76.2%	①	80.3%
現代の若者の精神的な未熟さや弱さ	②	72.6%	②	76.4%
看護職員に従来より高い能力が求められるようになってきている	③	53.3%	③	47.0%
現場の看護職員が新卒看護職員に仕事のなかで教える時間がない	④	39.0%	⑤	37.8%
交代制など不規則な勤務形態による労働負担が大きい	⑤	37.2%	⑧	28.9%
現代の社会・経済的な状況が経済的自立の必要性を弱めている	⑥	33.4%	⑪	20.0%
新卒看護職員が看護の仕事の魅力を感じにくい状況がある	⑦	30.4%	⑤	34.9%
自分が医療事故を起こすのではないかと、という不安で萎縮している	⑧	28.5%	⑨	28.0%
個々の看護職員を「認める」「ほめる」ことが少ない職場風土	⑨	20.9%	④	45.0%
新卒看護職員を計画的に育成する体制が整っていない	⑩	20.8%	⑦	30.0%
看護業務が整理されていないため新人が混乱する	⑪	17.0%	⑩	23.4%
その他	⑫	10.3%	⑫	15.1%
無回答	-	7.5%	-	1.1%

医療提供体制の各国比較(2001)

国名	千人当たり 病床数	平均在院日数	病床百床当たり 医師数	病床百床当たり 看護職員数	外来受診率
日本	12.8 (2003)	28.3 (2003)	15.6 (2002)	42.8 (2002)	14.5
ドイツ	9.1	11.6	39.6 (2000)	102.2 (2000)	7.3 (2000)
フランス	8.2	13.5	35.2 (1998)	69.7 (1997)	6.9
イギリス	4.1	8.3	43.9 (2000)	129.2 (2000)	4.9 (2000)
アメリカ	3.6	6.7	77.8 (2000)	230.0 (1999)	9.0

※ 外来受診率： 1人の国民が1年間に外来医を受診する平均回数

資料：

日本(外来受診率を除く)： 厚生労働省医療施設調査、病院報告(平成14,15年)
医師・歯科医師・薬剤師調査、衛生行政報告例(平成14年)

その他：「OECD Health Data 2002」、「OECD Health Data 2004」

千人当たり病床数、病床百床当たり医師数、病床百床当たり看護職員数：「OECD Health Data 2002」

平均在院日数、外来受診率：「OECD Health Data 2004」

○ 千人当たり病床数、病床百床当たり医師数、病床百床当たり看護職員数

日本：病院の全病床数(ただし、平均在院日数については、一般病床と療養病床の総数)

ドイツ：急性期病床、精神病床、予防治療施設及びリハビリ施設の病床(ただし、ナーシングホームの病床を除く。)

フランス：急性期病床、長期病床、精神病床、その他の病床

イギリス：NHS(National Health Service)の全病床(長期病床は除く。)

アメリカ：AHA(American Hospital Association)に登録されている全病院の病床

○ 外来受診率

日本：保険給付回数を保険加入者数で除したもの

ドイツ：社会保険からの総償還回数を初回保険加入者数で除したもの

フランス：SNIR(情報収集機関)による一人当たりの外来医師受診回数

イギリス：家計調査で把握した一人当たりの年間一般開業医受診回数

アメリカ：NHIS(National Health Interview Survey)で把握した一人当たりの外来医師受診回数